

令和7年度春季入学秋季募集 熊本県立大学大学院 環境共生学研究科
博士前期課程 一般選抜試験問題 専門科目 出題意図

【専門科目番号：① 専門科目名：海洋生態学】

干潟における種多様性、ストイキオメトリー、間接効果、安定同位体比を用いた食性解析に関する理解を問うた。

【専門科目番号：② 専門科目名：環境分析化学】

問1 有機化合物、無機物、イオンの分析方法の基礎的な理解度を確認する意図で出題した。

問2 液体クロマトグラフを題材として、試料中の混合物の分離や検出に関する原理、機構の理解度を確認する意図で出題した。

【専門科目番号：③ 専門科目名：大気環境学】

問1 この設問は、大気中の浮遊粒子状物質に関する基礎知識について、受験者の理解を確認することを目的としています。

問2 この設問は、大気中の浮遊粒子状物質に関する最新の研究知見について、受験者の理解を確認することを目的としています。

【専門科目番号：④ 専門科目名：沿岸海洋資源学】

問1 沿岸海洋資源学において、基礎的な用語の知識を問うた。

問2 文章の理解力、「海洋一次生産」および「海洋生態系で優占する珪藻類」に関する基礎的な知識力、発想力、文章の構成力および表現力を問うた。以下の観点から評価した。

(i) テーマの把握（テーマを正しく読みとっているか？）

(ii) 表現力（主語・述語・誤字・脱字・字数制限）

(iii) 妥当性（論理的か？）

(iv) 具体性（データ、実例などを駆使しているか？）

(v) 視野の広さ（客観的であるか？）

【専門科目番号：⑥ 専門科目名：環境材料科学】

問1 マイクロプラスチックに関する基礎的な理解を問う問題とした。

問2 廃棄物の処理及びリサイクルに関する基礎的な理解を問う問題とした。

問3 材料のせん断変形に関する基礎的な理解を問う問題とした。

問4 水素吸蔵合金に関する基礎的な理解を問う問題とした。

問5 カーボンフットプリントに関する基礎的な理解を問う問題とした。

【専門科目番号：⑫ 専門科目名：建築設計・住空間計画学】

建築設計・住空間計画学の大学院博士前期課程においては、建築に関してより専門的に、本質的問い掛けを行い、自らが掲げた研究課題に取り組んでもらう。このことは、学部生時の建築に関する建設技術や構法を学ぶだけではなく、建築のバックグラウンドとも言える建築の歴史や文化・思想の分野への学びを深め、自らの考えを磨き、高める必要がある。そこで、建築設計・住空間計画学の大学院博士前期課程の入学試験問題としては、現代の建築思想に大きな影響を及ぼしていると考えられる、近代に提唱された代表的な建築論や建築的概念に関する理解度を問いたい。建築は単なる「箱」ではなく、建設の技術の習得だけでは、建築を学んだとは言えない。建築とは、そこに人間が内在し、幸福で豊かな時間を過ごすことで初めて建築たり得ると考える。この意味では、近代の建築論の理解は、建築設計・住空間計画学の大学院博士前期課程の教育研究にとって必須と言える。

【専門科目番号：⑭ 専門科目名：建築計画学】

建築計画学における研究領域の基礎的な知識・理解を問う。同時に知識を簡潔な文章として表現する力をみる。

【専門科目番号：⑰ 専門科目名：食品分析学】

食品分析（一般成分分析ならびに機器分析）の原理・方法・限界を説明でき、定量結果を処理できる力をつけているかを確認することが狙いである。

【専門科目番号：⑳ 専門科目名：食品微生物学】

問1～問3を通じて、食品微生物学分野における微生物（主に食品関連の微生物）に関する基本的な知識を有しているかを問うものである。

【専門科目番号：㉔ 専門科目名：栄養教育学】

問1 トランスセオレティカルモデルについての基礎的な理解を問う問題とした。

問2 ポピュレーションアプローチの介入とその効果を示した介入のはしごについての理解と、介入のはしごの内容を具体的な介入方法に応用する力を問う問題とした。

問3 生態学的モデルについての理解を問う問題とした。

問4 二重過程理論についての理解と、システム1による意思決定が優勢になる状況での栄養教育に応用する力を問う問題とした。

【専門科目番号：㉕ 専門科目名：給食経営管理論】

問1および問2 給食経営管理論における衛生管理に関する基礎知識を問うものとした。

問3 調理システムに関する基礎知識を問うものとした。

問4 給食経営管理論における品質管理に関する理解度を問うものとした。

問5 学校給食を題材に、給食の目的および給食利用者特性の理解度を問うものとした。